

◆団体名 NPOフラワーセラピー研究会 東京多摩南地区 ◆助成金額 30,000円

◆助成内容 福祉施設やイベント時に使用する活動内容紹介パネル等の作成費を助成

◆活動理念

#### 【花でコミュニケーション】

「主役は花ではなく、人！という考えのもと、高齢者施設、子ども支援、生涯学習、イベント会場などでフラワーセラピー教室」を開催し、地域密着型の社会貢献活動を目指します。

子どもから高齢者、また障がいのある無償に関わり、全ての人のQOL(クオリティオブライフ)の向上とコミュニケーションのお手伝いをいたします。

◆活動内容 調布市内でフラワーボランティア活動をしています。

①高齢者施設活動 ②生涯学習  
③子ども障がい者支援活動 ④イベント参加活動  
フラワー材料(①②④)はフラワーセラピー(※2)、生花などを使い、自由な発想で作品づくりを楽しんでいる。③はフラワーセラピー、教室を企画開催しています。  
自由な作品づくりを通して自分で考えたり、他者とコミュニケーションをはかることで参加した方の「心の健康を支える活動」をしています。  
※1:生花に近い質感のまま保存できる花 ※2:乾燥させた花



えんがわファンドで3種類の活動内容紹介パネルを作成しました

◆団体名 原発のない暮らし@ちようふ ◆助成金額 10,000円

◆助成内容 再生可能エネルギーの重要性を啓発するための学習会講師謝礼金を助成

#### ◆団体設立目的

福島第一原発事故を忘れることなく、私たち市民が暮らしの中で使ったエネルギーについて考え、原発のない社会の早期実現を目指すことを目的に、2012年11月、任意団体として設立。

◆活動内容 フクシマを忘れないこと、そして自然エネルギー中心の持続可能な社会をつくることを目標に、勉強会(くらし@ここカフェ)や小冊子づくりなど、啓発活動を中心に楽しく活動しています。

#### ◆プログラム概要(報告)

#### 『あなたちが選ぶ未来のでんき〜今、クリーンな電力会社に切替えるわけ〜』

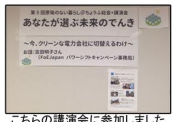
内容:電力自由化によって、どんな新電力から電気を買っていくことができるのか、電料金は高くなる? 切り替える手続きは大変? など、そんな不安や疑問に講師の方がお答えして、再生エネルギーに向かう世界の流れや日本の現状を学び、「電力会社を選ぶ意味」を改めて考えます。

日時:2014年1月4日(土) 13:30~16:00

会場:調布市市民プラザあくろす3F あくろすホール1

参加者:20名

講師:吉田明子氏(FoE Japan パワーショフキャンペーン事務局長)



こちらの講演会に参加しました

◆センター広域ネット 10/11(水) 13:30~14:30 介護老人保健施設フワリ調布での活動を見学しました。13名の利用者に対して、団体から8名のスタッフが参加し、個別対応に近い車椅子サポートをしました。

利用者自ら草花やオーナメントを選び、吸水スポンジに挿していくと作品ができあがるのですが、それをサポートしているスタッフは一方的に教えるのではなく利用者に寄り添い一対一で会話をします。そうすることで花の選び方や挿し方に個性が出て、その人ならではの作品ができあがります。視覚的にも華やかな作品は、「楽しい!」嬉しい!」で満たされたの感覚も得られます。開始時より利用者の方々の声が明るくなり、笑顔が増えたことが印象的でした。最後に、作品を見せ合う「発表会」で要約合うことで動かしやすくなります。

福祉施設職員からは「利用者皆さんの特技にあわせて対応してくれるので満足度も高い」との評価があるにも関わらず、「フラワーセラピー」という言葉からは活動内容をイメージしづらいというのが現状だと思います。

えんがわファンドで作成した3種類のパネルを活用し、活動内容・効果・団体の理念等が浸透すれば、高齢者施設や市内イベント等の活動オファーも増え、笑顔で健康な調布市民が増える一助となるのではないのでしょうか。



◆団体のキャッチフレーズ 「言いたい、聞きたい、広げたい」

◆センター広域ネット えんがわファンド助成対象事業である。本講演会に参加しました。2016年4月、電力小売りが全面自由化となりましたが、新しい電力会社に切り替えた人は4.7%。環境にやさしいエネルギーに変えたいけれど、「今までより電気代が高くなるのではないかと」、「どんな会社があるかわからない」という理由で切り替えに踏み出せずにいる人、そもそも電力切り替えの必要性を感じていない人もいます。電力を供給する会社は様々で、太陽光や水力、バイオガスや火力、バイオガスなど、地域活性化の総合力とあふれる自然を活用した再生可能エネルギーを使用している人、地域活性化を目指して地産地消で供給していたりと、形態も様々です。本講演会は、再生可能エネルギーのメリット・デメリットを知り、電力の供給形態や電力会社ごとの特徴、また電気料金を比較すること、団体の暮らしを見直し、地域活性化や循環型社会の視点で物事をとらえるきっかけになると思います。とはいえ、「再生可能エネルギー」という言葉や意味を知っている人は、まだまだ少ないと思います。一人でも多くの人が理解を深め、自身の暮らし方について選択できるきっかけを広げるための活動を期待します。



講演会の様子 電気を自動で足す「えんがこ」

# えんがわファンド 助成団体レポート その3

調布のボランティア・市民活動活動を資金とつながりて助成する市民生活支援センターのプログラム「えんがわファンド」日頃まちを様々な形で活動している助成団体「第3弾」とあわせて、えんがわファンド助成団体が「堂に上り、盛り上がる」の要を担ったちようふチャリティウォークのの様子も報告します。各団体の活動に関心のある方は、市民生活支援センターまでお気軽にお問い合わせください。

## ちようふチャリティウォーク2017 Photo Gallery

11月5日(日)にちようふチャリティウォーク2017が開催されました。今回は、白百合女子大学をスタートに、仙川・つじヶ丘の各所を兼みつつ、ゴールの大町スポーツ施設まで、6kmほどのコースです。

右の写真は、今年度のえんがわファンドの助成を受けた各団体の参加の様子です。イベントを通じて、団体同士や来場者とのつながりも生まれました。

チャリティウォークの参加費(大人500円、高校生以下100円)やチャリティグッズの売上、お弁当付きウォーク参加費、後援店の売上(一部)などのチャリティ金額の総計が約33万円となりました。チャリティウォークに参加してくれた皆様、ありがとうございました。

